

# 令和2年度 第4次かほく市行政改革実施報告書

第4次かほく市行政改革実施計画書	項目数	<b>52項目</b>
・令和2年度実施項目数		<b>50項目</b>
（うち目標達成項目数）		<b>40項目</b>
（うち目標未達成項目数）		<b>10項目</b>
・令和3年度以降に実績検証		<b>2項目</b>

令和2年度目標達成率	.....	<b>76.9%</b> <b>(40項目/52項目)</b>
------------	-------	------------------------------------

## <令和2年度目標未達成項目一覧>

### No.5 市民の健康づくりの機会創出

- ① 健康ポイント付与人数
- ② 「百歳体操」参加人数
- ③ 介護者教室満足度
- ④ 健康づくり実施事業

### No.7 専門的業務研修の実施

- ⑤ 国の研修機関への派遣

### No.8 防災体制の強化

- ⑥ 防災講座の開催回数

### No.11 公用車(管理・運転業務)

- ⑦ 民間委託(福祉巡回バス維持管理等)
- ⑧ 民間委託(老人福祉センター等のバス)

### No.13 市税等の収納率の向上

- ⑨ 滞納繰越分収納率
- ⑩ 市税等の収納率の向上 介護保険料の普通徴収口座振替率

重点項目	実施項目	主管課	達成状況及び実績報告必要年度					
			項目	R2	R3	R4	R5	R6
1 市民サービス向上	1 情報公開の推進	総務課	1 開示請求方法の拡充	○	→	★		
		総務課	2 告示内容のHP公開	○	→	★		
		情報推進課	3 HP更新	○	→	★		
	2 パブリックコメント制度の推進	情報推進課	4 HP・広報意見等公表	○	★			
		情報推進課	5 提出方法の検討	○	★			
	3 定住促進の推進	企画情報課	6 住みよさ発信	○	→	→	→	→
	4 一体的な子育て支援の充実	子育て支援課	7 計画実施・推進	○	→	→	→	→
		健康福祉課	8 プラン実施・推進	○	→	→	→	→
	5 市民の健康づくりの機会創出	健康福祉課	9 ホイット付与人数	×	→	→	→	★
		長寿介護課	10 百歳体操参加率	×	→	→	→	★
		長寿介護課	11 介護知識等習得割合	○	→	→	→	→
		長寿介護課	12 教室満足度	×	→	→	→	→
		生涯学習課	13 受講者満足度	○	→	→	→	→
		生涯学習課	14 健康づくり講座実施	○	→	→	→	→
		スポーツ文化課	15 健康づくり実施事業	×	→	→	→	★
		スポーツ文化課	16 スポーツ実施率	○	→	→	→	★
	6 機能的な組織の構築	総務課	17 窓口ワンストップ化WGによる検討	○	→	→	→	★
		税務課						
		市民生活課						
		保険医療課						
長寿介護課								
子育て支援課								
7 専門的業務研修の実施	総務課	18 研修機関への派遣	×	→	→	→	→	
8 防災体制の強化	防災環境対策課	19 防災講座開催回数	×	→	→	→	→	
	防災環境対策課	20 マニュアル整備・公開	○	★				
2 民間活力の積極的活用	9 窓口業務（住民票・証明発行業務）	市民生活課	21 民間委託	○	→	★		
		税務課	22 民間委託	○	→	★		
	10 CATV（制作・放送業務）	情報推進課	23 民間活用洗い出し	○	→	★		
	11 公用車（管理・運転業務）	総務課	24 民間委託	○	→	★		
		健康福祉課	25 民間委託	×	→	★		
		長寿介護課	26 民間委託	×	→	★		
		学校教育課	27 民間委託	○	→	★		

○第4次行政改革実施計画 項目一覧

重点項目	実施項目	主管課	達成状況及び実績報告必要年度						
			項目	R2	R3	R4	R5	R6	
3 効率的な財政運営の確保	12 受益者負担/分担金の適正化	財政課	28 サービス対価の適正化	○	→	→	→	→	
		情報推進課	29 実効対応策定	○	→	★			
	13 市税等の収納率の向上	税務課	30 現年度収納率	○	→	→	→	→	
		税務課	31 滞納繰越収納率	×	→	→	→	→	
		税務課	32 啓発活動	○	→	→	→	→	
		子育て支援課	33 現年度収納率	○	→	→	→	→	
		保険医療課	34 国保税現年度収納率	○	→	→	→	→	
		保険医療課	35 普通徴収口座振替率	○	→	→	→	→	
		保険医療課	36 後期高齢現年度収納率	○	→	→	→	→	
		保険医療課	37 普通徴収口座振替率	○	→	→	→	→	
		長寿介護課	38 普通徴収口座振替率	×	→	→	→	→	
		長寿介護課	39 普通徴収収納率	○	→	→	→	→	
		都市建設課	40 現年度家賃収納率	○	→	→	→	→	
		都市建設課	41 業者選定	-				★	
		上下水道課	42 水道料現年度収納率	○	→	→	→	→	
		上下水道課	43 下水道料現年度収納率	○	→	→	→	→	
		上下水道課	44 受益者負担金現年度収納率	○	→	→	→	→	
		学校教育課	45 給食費現年度収納率	○	→	→	→	→	
		14 新たな財源制度の確保	財政課	46 税外収入の検証	○	→	→	→	→
			財政課	47 対象案件の検証	○	→	→	→	→
4 事務事業の継続的な見直し	15 人事評価に基づく効果的で適正な人員管理		総務課	48 目標達成の割合	○	→	→	→	→
	16 定員管理の適正化		総務課	49 計画策定	○	→	→	→	→
		総務課	50 事務分担明確化	-	→	→	★	→	
17 事務事業の整理合理化	総務課 情報推進課	51 導入業務選定等	○	→	★	→	→		
	総務課	52 業務マニュアル見直し	○	→	→	→	→		

重点項目： 1 . 市民サービス向上

実施項目 【主管課】	実施内容	R2年度の実績及び効果 【具体的な実績内容】	実施スケジュール（年度）						結果分析と今後の対策 【目標を達成できなかった場合のみ記載】	
			項目	R2	評価	R3	R4	R5		R6
1 情報公開の推進 【総務課】	・公文書開示請求の電子申請を可能とするとともに、請求内容の概要とその開示の可否について結果をHPで公開する。	先進地の条例やHP等の状況を調査し、当市においても実施可能であることを確認した。	開示請求方法の拡充	条例・HP等整備の検討	○	条例・HP等整備	運用開始	—	—	
	・市役所庁舎前にある掲示場（告示板）の内容をHPにて公開する。	先進地の取り扱いを調査し、HP掲示場で公開する範囲について検討した。  【HP掲示場で公開しないもの】 ・個人情報を含むもの（件名のみ公開） ・HP上のほかのページで閲覧可能なもの（条例等の例規など）	告示内容のHP公開	公開範囲の検討	○	HP整備	運用開始	—	—	
【情報推進課】	・HPの構成等の全面的な見直しを行う。	・R3年度の改修実施に向け、現状のHPの課題点を整理し、課題をクリアできるシステムの検討を実施。R3年度当初での予算化。  主な課題 全体的なアクセスの煩雑さ 緊急事態への柔軟な対応 スマホ対応の充実 バナーの乱立 など R3予算 リース料 R3年度は3カ月分 454,707円×3ヶ月 = 1,364,121円 (60回分で 27,282,420円規模)	HP更新	検討	○	改修	運用	—	—	
2 パブリックコメント制度の推進 【情報推進課】	・パブリックコメントに対する意見のHP上等での公表に加え、提案箱などにより市へ寄せられた意見についても、回答をHPで公開するとともに内容を集計し、広報へ掲載することを検討する。	・長寿介護課からの「かほく市高齢者福祉計画 第8期介護保険事業計画（素案）」についてのパブコメ募集をHP上で実施（R3/2/9-2/21）。（意見は無し。） ・広報1月号でアンケートを実施、翌年度4月号で結果の抜粋を掲載。 ・提案箱のQ&AをHPで更新することなどの検討について 提案箱への投稿内容は、特定の個別的な事象に対する要望・苦情が殆どであり、一般化して「よくあるご質問」のような形で公表すべきものがない状況であるため、なかなか掲載記事を作成するまでにいたっていないのが現状。（その他、単なる落書きや、駅など市役所以外への要望的なものも多数）	HP及び広報での意見等の公表	検討	○	実施	—	—	—	

重点項目： 1 . 市民サービス向上

実施項目 【主管課】	実施内容	R2年度の実績及び効果 【具体的な実績内容】	実施スケジュール（年度）						結果分析と今後の対策 【目標を達成できなかった 場合のみ記載】	
			項目	R2	評価	R3	R4	R5		R6
	・意見募集方法についてより一層市民の皆様からの意見の提出方法を簡単にできるように検討する。	・メールおよびホームページからの投稿フォームでの受付を可能としている。 ・市民の方からの意見提出方法の簡単化の検討について 現在、メール・ホームページでの意見収集を行っているが、HPの改修でも、投稿フォーム機能は維持する。また、R3年度手続きのオンライン化システムを整備中であるが、意見収取の手段としての使用の可否を検討する。	提出方法 の検討	検討	○	実施	—	—	—	

重点項目： 1 . 市民サービス向上

実施項目 【主管課】	実施内容	R2年度の実績及び効果 【具体的な実績内容】	実施スケジュール（年度）						結果分析と今後の対策 【目標を達成できなかった 場合のみ記載】	
			項目	R2	評価	R3	R4	R5		R6
3 定住促進の推進  【企画振興課】	・若年層の定住を図るため、効果的な各種定住促進事業を検討、実施するとともに、市の住みよさを効果的に発信する。	◆新婚さん住まい応援事業 申込件数：95件（R1：90件） 市民生活課と協力し、転入してきた新婚世帯へチラシを配布し制度を周知したほか、ホームページやSNSを活用し広くPRした。 ◆若者マイホーム取得奨励金 申込件数：216件（R1：192件） 若者マイホーム取得奨励金制度リーフレットを新婚さん住まい応援事業活用者へ配布したほか、ホームページや各種メディアを活用し広くPRした。 ◆UIJターン住まい補助金 申込件数：10件（R1：2件） ILACやふるさと回帰支援センターと連携し、県外からの移住者を獲得するため情報発信を行った。	住みよさの発信	実施	○	→	→	→	→	
4 一体的な子育て支援の充実  【子育て支援課】	・令和2年度からの第2期かほく市子ども・子育て支援事業計画に基づき、関係各課と連携し、一体的な子育て支援を実施する。  ・定住促進効果等により増加する乳幼児・児童に対応する為、更なるこども園や学童保育クラブの受け入れ体制強化策の検討を行う。	①第2期子ども子育て支援事業計画における保育需要の見込みを踏まえ、民設園の公募を行い、今後の保育需要に備えたほか、学童保育クラブにおいても、市南部地区での受け入れ強化として、宇ノ気南部体育館改修にあわせ、同一施設内に南部学童保育クラブを併設する方針とした。 【保育需要の伸びに対応した施設】 ・幼保連携型認定こども園の公募 R4 にじの丘こども園（秋浜地内） ・小規模保育園の協議 R4 リトルディッパーナーサリー（木津地内） ・宇ノ気南部学童保育クラブ R4. 4. 1開所（R3年度に工事実施）  ②地域における子育てネットワークづくりの一環として、谷公園地内の旧金津体育館を「あそびの森かほっくる」としてリニューアルした。 ・あそびの森かほっくる R3. 4. 29 オープン	子ども・子育て支援事業計画の実施・推進	実施	○	→	→	→	→	

重点項目： 1 . 市民サービス向上

実施項目 【主管課】	実施内容	R2年度の実績及び効果 【具体的な実績内容】	実施スケジュール（年度）						結果分析と今後の対策 【目標を達成できなかった場合のみ記載】		
			項目	R2	評価	R3	R4	R5		R6	
【健康福祉課】	・妊産婦・乳幼児等の状況を把握し、支援が必要なケースに医療機関や児童福祉等の関係機関と連携を図り継続的包括的に支援を行う。	母子手帳交付時の面接 275件 妊婦訪問：6件産婦・新生児訪問：291件 幼児訪問：36件 母子保健事例検討会 11回 要対協進行管理会議への出席 6回 個別ケース検討会 24回  個別面接・訪問を実施し育児に関する相談に応じることができた。他機関との連携支援が必要と判断した場合は検討会で共有し支援につなげることができた。今後も継続実施する。	健康プラン21の実施・推進	実施	○	→	→	→	→		
5 市民の健康づくりの機会創出  【健康福祉課】	・健康プラン21を基に、健康ポイント等を活用した健康における知識の啓発、健康ウォーキング等を推進する。  ※H29年度活動量計活用型ウォーキング・健康ポイントラリー参加実人数1,200人	■広報かほくに健康プラン21中間評価結果を連載し、健康づくりに関する啓発普及に取り組んだ。 H28年度より看護大学・イオンとの連携によるか歩くウォーキング事業を継続した。参加方法として、従来の活動量計に、いしかわスポーツマイレージを加え、313人（新規168人）が参加した。健康レッスンは、新型コロナウイルス感染症の影響による人数制限、中止等により、延247人の参加となった。	健康ポイント付与人数	1,500人	×	247人	1,500人	1,500人	1,500人	1,500人	健康レッスンをはじめとする集団形式の教室は、感染症による影響から参加人数が大幅に減少した。コロナ禍における感染対策や時代に即した健康づくりとして、ウォーキングやスマートフォンを活用したウォーキング事業の推進は有用であるため、今後も継続実施し、個人の取り組み促す環境整備の推進を図る。
【長寿介護課】	・地域における住民主体の介護予防活動の育成・支援を行う。	R2年度には新たに1つの体操グループが立ち上がり、市内42の体操グループとなったが、新型コロナウイルス感染症の影響によりR2年度末で9グループが休止となり、R2年度参加者数は690人であった。 市公式YouTubeチャンネルやケーブルテレビにおいて百歳体操の映像を放送することで、コロナ禍においても自宅で体操できる環境を整えた。	「百歳体操」参加人数	1,000人	×	690人	1,000人	1,000人	1,000人	1,000人	新型コロナによる、体操グループ活動自粛や高齢者の外出自粛の影響で、目標を下回った。新型コロナの影響が続く中で、感染症予防の指導や外出自粛による健康への悪影響を周知し、参加者数の回復を図る。

重点項目： 1 . 市民サービス向上

実施項目 【主管課】	実施内容	R2年度の実績及び効果 【具体的な実績内容】	実施スケジュール（年度）						結果分析と今後の対策 【目標を達成できなかった場合のみ記載】	
			項目	R2	評価	R3	R4	R5		R6
【長寿介護課】	・介護者教室を開催し、介護の知識や介護力の向上、介護者間の交流の機会を確保する。	<p>自宅で介護をされている方や介護や認知症に興味がある方を対象に、認知症の基礎知識や認知症の方との適切な付き合い方について学ぶ教室を令和2年8月に開催した。</p> <p>・令和2年8月29日（土） 8名参加</p> <p>例年であれば教室を複数回開催していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により1回の開催となった。</p>	介護知識・技術を習得したと答えた人の割合	80.0%	○ 87.5%	80.0%	80.0%	80.0%	80.0%	<p>教室開催後に行ったアンケートの結果、認知症の方への具体的な介護方法について学びたい介護者が多いことが分かった。次回開催する教室は、より実践的な介護方法について学べものにする。</p>
			教室に満足したと答えた人の割合	90.0%	× 87.5%	90.0%	90.0%	90.0%	90.0%	
【生涯学習課】	<p>・市民の学習の場として開校している「かほく市民大学校」において、健康づくりをテーマとする学習機会を提供する。</p> <p>・「かほく市出前講座」について、引き続き講座の分類に健康づくりに関する講座メニューを設ける。</p>	<p>【具体的な実施内容】 （市民大学校、出前講座等） コロナ禍ではあったが、市民や各種団体の生涯学習推進や行政の情報を発信する機会として、例年より回数は減ったものの、市民大学校、出前講座等を継続して開催した。 （アンケート実施） 市民大学校各講座開催時にアンケートを実施し、感想や評価、希望講座等を分析した。また、アンケート結果を踏まえ、翌年度の講座開催に反映し、さらに魅力的な講座開催に努めた。 （情報発信） 市広報、ホームページ、いいメールかほく、ケーブルテレビ等を活用し、講座開催の情報発信・参加者募集に努めた。</p>	受講者満足度	80.0%	○ 91.0%	80.0%	80.0%	80.0%	80.0%	<p>健康づくり関連講座の実施</p>
			健康づくり関連講座の実施	実施数	○ 6個	→	→	→	→	



重点項目： 1 . 市民サービス向上

実施項目 【主管課】	実施内容	R2年度の実績及び効果 【具体的な実績内容】	実施スケジュール（年度）						結果分析と今後の対策 【目標を達成できなかった場合のみ記載】		
			項目	R2	評価	R3	R4	R5		R6	
【スポーツ文化課】	<p>・市民体カテストをはじめとして、石川県立看護大学等との連携事業を継続・拡充し、更なる地域住民の健康づくりを推進する。</p> <p>・子どもから高齢者まで誰もが気軽に参加できるニュースポーツイベントを開催し、健康で生きがいを感じる機会の充実に努め、市民の健康・体力の増進を図る。</p>	<p>新型コロナウイルス感染拡大の影響のため、市民体カテスト等連携事業については、実施を見送った。</p> <p>新型コロナウイルス感染拡大の影響のため、緊急事態宣言時のスポーツイベントは、実施を見送ったが、一部感染対策を徹底し開催した事業や施設の開放を行い市民への健康・体力への維持に努めた。</p>	健康づくり実施事業	3事業	×	0事業	3事業	3事業	3事業	3事業	<p>今後連携事業の拡充を図り市民の健康づくりを推進するため、感染症対策を徹底し、できる範囲でスポーツを通じた健康増進に関する取組みを進める。</p>
			市民(成人)の週1回以上のスポーツ実施率	70.0%	○	78%	70.0%	70.0%	70.0%	70.0%	
6 機能的な組織の構築 【総務課】 【税務課】 【市民生活課】 【子育て支援課】 【保険医療課】 【長寿介護課】	<p>・関係各課によるワーキンググループを立ち上げ、その調整を行う。係ごとの業務を洗い出し、横断的業務や重複・類似業務の集約の検討を行う。</p>	<p>窓口ワンストップ化に向けた取組の検討を行うワーキンググループを設置するため、令和2年8月に行革専門部会を開催した。</p> <p>&lt;関係各課ワーキンググループ設置・検討&gt; 第1回：令和2年 9月24日 第2回：令和2年12月14日 ワーキンググループでは、死亡に伴う手続を一元化して行う「おくやみコーナー」設置に向けて準備を進め、令和3年4月1日より運用を開始した。</p>	ワーキンググループによる検討	設置	○	検討	→	→	まとめ		
7 専門的業務研修の実施 【総務課】	<p>・国、県の専門研修機関を利用し、職員が専門的知識、技術を身につける。 【研修機関】 ・県市町村職員研修所 ・総務省自治大学校 ・市町村アカデミー ・国際文化アカデミー</p>	<p>新型コロナウイルス感染拡大の影響のため、全ての派遣研修について、実施を見送った。</p>	国の研修機関への派遣	3人	×	0人	3人	3人	3人	3人	<p>人材の育成を継続して実施していくために、今後は、派遣研修ができない場合を想定して、オンライン等で実施するための設備を整える必要がある。</p>

重点項目： 1 . 市民サービス向上

実施項目 【主管課】	実施内容	R2年度の実績及び効果 【具体的な実績内容】	実施スケジュール（年度）						結果分析と今後の対策 【目標を達成できなかった場合のみ記載】	
			項目	R2	評価	R3	R4	R5		R6
8 防災体制の強化  【防災環境対策課】	・拠点避難所（市内9小中学校）の施設状況に合わせた運営マニュアルの見直しを行うほか、各種ハザードマップについても国・県からの区域変更の情報を適宜反映させて見直しを行い、様々な機会を捉えて防災士を始めとした市民に周知する。	新型コロナウイルス感染拡大の影響のため、周知する機会が大幅に減少した。	防災講座の開催回数	10回	× 5回	10回	10回	10回	10回	人を集める機会が減少したが、粘り強く周知していく。
	・拠点避難所ごとにマニュアルを整理し、ホームページに公開する。	拠点避難所ごとのマニュアル公開に向けての検討を行い、問題点などを洗い出した。また、新型コロナウイルス感染症等避難所対応マニュアルを作成し、自主防災組織等に配布し、HPで公開した。さらに、石川県と協力し河北台中学校で「新型コロナウイルス感染症と自然災害の複合災害における避難所開設・運営のポイント」の動画作成し、各町会区へ配布した。	マニュアルの整理・公開	整理 検討	○	整理 検討	HPへの 公開	—	—	

重点項目： 2. 民間活力の積極的活用

実施項目 【主管課】	実施内容	R2年度実績及び効果 【具体的な実績内容】	実施スケジュール（年度）						結果分析と今後の対策 【目標を達成できなかった 場合のみ記載】	
			項目	R2	評価	R3	R4	R5		R6
9 窓口業務（住民票・ 証明発行業務） 【市民生活課】 【税務課】	・民間活力を利用すること によるメリット、デメリット 等を調査検討し、委託可能 な業務について委託する。	民間委託を取り巻く外部環境の変化（国 のデジタル化推進やICTの活用など） について調査・検討した。 委託可能な業務範囲についての検討に着 手した。引き続き、メリット、デメリッ ト等を含め、総合的に委託可能か引き続 き調査検討を行う。	民間委託 （住民票）	検討	○	→	実施	—	—	
			民間委託 （各種証明）	検討	○	→	実施	—	—	
10 CATV（制作・放 送業務） 【情報推進課】	・撮影および編集業務委託 の拡大 ・新サービス対応機器の共 有推進 ・有識者による番組審議	・コロナ禍でイベント等の中止が続く 中、中学生の各種大会の代替大会につ いて全競技を対象とした特集番組を委託制 作した。 ・4K放送対応STB（チューナー）の取り 扱い拡大 ・年2回の番組審議会を開催。 ※H27から年2回開催（委員からの申出 があり、9月と3月に開催）	民間活用 の洗い出 し・実施	検討	○	→	実施	→	→	
11 公用車（管理・運転 業務） 【総務課】	・公用車のメンテナンスや 消耗品等の更新等を含めた 一括委託の検討を行う。	・道路運搬車両法第48条に基づく定期点 検整備を行っており、点検時に消耗品等 を取り換えている。  ・検討した結果、これまで車両を納車し た業者には廃車までの間、定期点検整備 や車検をお願いしてきた経緯があり、現 有車におけるメンテナンスの一括委託実 施は難しいことが判明した。	民間委託	検討	○	→	実施	—	—	
【健康福祉課】	・現状、福祉巡回バスは運 転業務のみ外部（シルバー 人材センター）に委託して いるが、車両の維持管理、 運行管理、ルートの見直し 等、行政が処理している業 務も包括的に外部委託す る。	■R2事業費 32,220千円 ・運行委託料 7,360千円 ・燃料費 2,249千円 ・自動車購入費 20,130千円  ・利用延べ人数=36,591人 ・運行延べ日数=476日 ・1日平均利用人数=77人 車両の維持管理、運行管理については 委託せず、運転業務のみ委託した。	民間委託	検討	×	→	実施	—	—	車両の維持管理や運行管 理が実施可能な民間事業所 の把握や、一連の事務処理 について洗い出しを行い、 業務委託に向けた具体的な 計画を策定する必要がある。 る。

重点項目： 2. 民間活力の積極的活用

実施項目 【主管課】	実施内容	R2年度実績及び効果 【具体的な実績内容】	実施スケジュール（年度）						結果分析と今後の対策 【目標を達成できなかった 場合のみ記載】	
			項目	R2	評価	R3	R4	R5		R6
【長寿介護課】	・老人福祉センター等のバスの運行や管理業務の民営化について検討を行う。	・施設利用延べ人数＝8,883人 (R1: 32,300人)  老人福祉センターを利用することで、高齢者の健康増進と利用者同士の交流を図ることができ、かつ支援日常生活動作（ADL）の維持など介護予防にも役立っている。令和2年4月13日～6月14日までの期間、新型コロナウイルス感染症予防のため入浴事業を中止したことにより施設利用者の介護認定の相談件数が17件に上り、うち9件が申請となった。	民間委託	検討	×	→	実施	—	—	新型コロナウイルス感染症予防対策のため、長期間事業が中止となり地区ごとの分散入浴等で又事業再開となった際、利用者への連絡やバスの送迎等イレギュラーな対応が必要とされ、民間委託化の検討が進まなかった。今後は、民間委託化した場合の適正な管理運営と効率化を図れるよう検討していく。
【学校教育課】	・スクールバス及び学校給食センター配送業務を民間委託する。	スクールバス及び学校給食センターの配送業務の民間委託についての課題を整理し検討を行った。	民間委託	検討	○	→	実施	—	—	

重点項目： 3. 効率的な財政運営の確保

実施項目 【主管課】	実施内容	R2年度実績及び効果 【具体的な実績内容】	実施スケジュール（年度）						結果分析と今後の対策 【目標を達成できなかった 場合のみ記載】	
			項目	R2	評価	R3	R4	R5		R6
12 受益者負担/分担金の適正化 【財政課】	・ 公共施設の使用料や各事業において負担いただいている受益者負担金について、利用者負担の原則に基づき適正に反映させる。	・ 下水道使用料の改正の必要性について主管課と協議を開始 ・ 国民健康保険税の税率改正に向けて、主管課と協議を開始	サービス対価の適正化	検討	○	→	→	→	→	
13 市税等の収納率の向上 【情報推進課】	・ ケーブルテレビ使用料の未納に対する実効的な対応策を策定する。 ・ 滞納者宅への書面及び電話に加え訪問による催告を実施する。	金沢ケーブル㈱と共同で、ケーブルテレビ利用料金とインターネット・ケーブルプラス電話の利用料滞納者に対し、電話・書面による督促に加え、分納による未納額削減提案やコンビニ・銀行での納付書送付を実施。サービス内容のランクダウン等での対応も実施。一部、訪問による督促も実施。	実効的対応策の検討・策定	検討	○	→	策定	—	—	
【税務課】	・ コールセンターとの連携を図り、現年度未納分に対する早期電話催告を行う。	現年度分未納者を調査集約し、連携を図りながら電話催告を実施することで現年度分の滞納防止につなげた。  電話番号判明率 28.6% ※電話番号不明の滞納者について、納税コールセンター委託業務により電話番号が判明した率（R2:645件/2,255件）  接触率 38.9% ※納税コールセンター委託業務において、滞納者に対し架電をし、接触できた率（R2:521件/1,340件）  【現年度収納率実績数値】 ・ H29年度 98.98% ・ H30年度 99.19% ・ R1年度 99.39% ・ R2年度 99.08% 調定：4,254,049,910円 収入：4,214,982,109円	現年度収納率	98.9%	○ 99.1%	98.9%	98.9%	98.9%	98.9%	

重点項目： 3. 効率的な財政運営の確保

実施項目 【主管課】	実施内容	R2年度実績及び効果 【具体的な実績内容】	実施スケジュール（年度）						結果分析と今後の対策 【目標を達成できなかった 場合のみ記載】		
			項目	R2	評価	R3	R4	R5		R6	
	・長期にわたる悪質な滞納者に対し、厳正に対処するため搜索等の滞納処分を実施し、処分不可能な事案には速やかに執行停止を行い、メリハリのある滞納整理を行う。	<p>県滞納整理機構への引継ぎ案件と、そうでないものを切り分け効率的に滞納処分を実施。また、滞納整理状況の進捗具合を定期的に見直すことで、処分不可能なものに対しては速やかに執行停止を実施し、滞納額の圧縮につなげた。</p> <p>【滞納繰越分収納率実績数値】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・H29年度 15.73%</li> <li>・H30年度 17.25%</li> <li>・R1年度 13.70%</li> <li>・R2年度 14.65%</li> </ul> <p>調定：241,613,706円 収入：35,384,823円</p>	滞納繰越分収納率	15.7%	×	14.7%	15.7%	15.7%	15.7%	15.7%	<p>現下のコロナ禍の影響による収入減等が生活を圧迫する状況にあって、滞納者の納付が困難であったことや、現年度納付を優先し、滞納繰越分の処分等を猶予したことによる。今後においてもコロナ禍の収束状況が見通せず、影響が続くことが予想されるため、滞納整理状況の把握をより一層行い、処分可否の判断を進めていくことで達成をしたい。</p>
	・イベントや学校への租税教室を通じて納税に関する啓発活動を行う。	<p>イベントでの啓発はコロナ禍でイベント自体が中止のため実施を見送った。租税教室は、市内小中学校を対象に希望のあった2校で実施。積極的に質問が出るなど税への関心と理解を深めることができた。</p> <p>【租税教室開催実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1回目：7/28 七塚小学校</li> <li>・2回目：1/27 高松小学校</li> </ul>	啓発活動の実施	実施	○		→	→	→	→	
【子育て支援課】	・保育料に係る未納額が少額のうちに早期に滞納者へ納付を促す。また、高額滞納者などに対しては税務課と連携し、分納誓約や法的手続きを進める。	<p>・各こども園での園長から定期的な保育料納入の声かけを行い、滞納額の発生を未然に防いだほか、長期滞納者については、子育て支援課職員により定期的な納入案内を行った。</p> <p>【R2保育料】</p> <p>(現年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・調定額：73,404千円</li> <li>・収納額：73,404千円 (100%)</li> </ul> <p>(過年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・調定額：3,606千円</li> <li>・収納額：245千円 (6.8%)</li> </ul>	現年度収納率	100%	○	100%	100%	100%	100%	100%	

重点項目： 3. 効率的な財政運営の確保

実施項目 【主管課】	実施内容	R2年度実績及び効果 【具体的な実績内容】	実施スケジュール（年度）						結果分析と今後の対策 【目標を達成できなかった 場合のみ記載】	
			項目	R2	評価	R3	R4	R5		R6
【保険医療課】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現年度収納率を上げるために口座振替を推進する。</li> <li>・現年度収納率を上げるためには、新規滞納者の発生を防止することが重要であることから、関係課とも連携を図りながら次の事項を実施する。</li> <li>・督促状の送付</li> <li>・コールセンター等を活用した電話催告や文書による催告</li> <li>・納付相談や臨戸</li> <li>・納税等の意思のない方には滞納処分</li> </ul>	現年度収納率実績数値 H31年度 97.03% R2年度 97.71% 調定：575,320,300円 収入：562,138,810円	国民健康 保険税 現年度収 納率	95.0%	○ 97.7%	95.0%	95.0%	95.0%	95.0%	/
			普通徴収 口座振替 率	70.0%	○ 74.7%	70.0%	70.0%	70.0%	70.0%	
		現年度収納率実績数値 H31年度 99.81% R2年度 99.94% 調定：318,971,534円 収入：318,779,028円	後期高齢 者医療保 険 現年度収 納率	99.5%	○ 99.94%	99.5%	99.5%	99.5%	99.5%	
			普通徴収 口座振替 率	90.0%	○ 90.26%	90.0%	90.0%	90.0%	90.0%	

重点項目： 3. 効率的な財政運営の確保

実施項目 【主管課】	実施内容	R2年度実績及び効果 【具体的な実績内容】	実施スケジュール（年度）						結果分析と今後の対策 【目標を達成できなかった 場合のみ記載】	
			項目	R2	評価	R3	R4	R5		R6
【長寿介護課】	・介護保険料に係る新規滞納者の早期対応を強化する。 ・65歳到達時期 ・年金特徴から普通徴収への切替時	督促状および催告書を送付することで、滞納にならないよう注意喚起し、また滞納になっても早期の段階で対応ができ大口滞納者の発生を防げた。	普通徴収口座振替率	34.0%	× 29.0%	34.0%	34.0%	34.0%	34.0%	新規普通徴収対象になった方に口座振替依頼書を同封し、口座振替を促進する。
	・料金徴収事務がある他課との情報共有を強化する。	税務課と常に情報を共有、業務連携することで、窓口の一元化、漏れのない対応ができた。	普通徴収収納率	90.5%	○ 99.0%	90.5%	90.5%	90.5%	90.5%	
【都市建設課】	・指定管理者との連携を維持し、市営住宅の家賃（滞納分含む）徴収の強化に努めるとともに、請負者の更新時に家賃徴収体制等も選定基準に加え業者選定を行う。	R2年度分の収納率は99.91%であった。 調定額：65,716,000円 収入額：65,656,000円  指定管理者のこまめな催促の連絡により、R2の滞納世帯は1世帯（60千円）のみであった。	現年度家賃収納率	99.0%	○ 99.9%	99.0%	99.0%	99.0%	99.0%	
			業者選定	—	—	—	—	選定		
【上下水道課】	・上下水道料金については、滞納額を増やさないため、また、滞納したまま市外へ転出しないよう、毎月給水停止を実施する。  ・受益者負担金については、一括報奨金制度の周知徹底と、ボーナス支給月の職員一斉電話催告と戸別訪問を実施する。	・上下水道料金については、滞納額を増やさないため、また、滞納したまま市外へ転出しないよう、毎月給水停止を実施する。  ・受益者負担金については、一括報奨金制度の周知徹底を実施している。	水道料現年度収納率	98.6%	○ 98.8%	98.6%	98.6%	98.6%	98.6%	
			下水道使用料現年度収納率	98.9%	○ 99.0%	98.9%	98.9%	98.9%	98.9%	
			受益者負担金現年度収納率	98.0%	○ 99.3%	98.0%	98.0%	98.0%	98.0%	
【学校教育課】	・学校と連携し、給食費の徴収体制の強化を図る。	現年度収納実績数値 99.89% 調定：161,049,885円 収入：160,874,196円	給食費現年度収納率	99.5%	○ 99.9%	99.5%	99.5%	99.5%	99.5%	



重点項目： 3. 効率的な財政運営の確保

実施項目 【主管課】	実施内容	R2年度実績及び効果 【具体的な実績内容】	実施スケジュール（年度）						結果分析と今後の対策 【目標を達成できなかった 場合のみ記載】	
			項目	R2	評価	R3	R4	R5		R6
14 新たな財源制度の 確保  【財政課】	・他自治体で導入されている 税収以外の様々な財源について、 かほく市における実施可能性を 探るほか、独自の財源創出を 検討する。	市営バス、福祉バスについて 広告スペースの設置を検討	税外収入の 検証	事例収 集等	○	検証	→	→	→	
	・公民連携など民間活力を 積極的に取り入れることにより、 財源・資産の有効活用を図る ことが可能となる。	（仮称）かほく市総合体育館の 建設、運営、屋内遊戯施設かほく くるの運営事業者を決定	対象案件 実施可能性の 検証	検証	○	→	→	→	→	

重点項目： 4. 事務事業の継続的な見直し

実施項目 【主管課】	実施内容	R2年度実績及び効果 【具体的な実績内容】	実施スケジュール（年度）						結果分析と今後の対策 【目標を達成できなかった 場合のみ記載】	
			項目	R2	評価	R3	R4	R5		R6
15 人事評価に基づく効果的で適正な人員管理 【総務課】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年度始めの期首面談により、組織目標、個人目標等を明確にし、認識の共有化を図る。</li> <li>・人事評価制度については、中間評価、期末評価の2回に分けて実施、それぞれの結果を勤勉手当に反映される。総合評価については、職員の昇給に反映する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新任評価者に対して、研修を行い、制度の趣旨を再確認するとともに、評価者として目標管理による業績評価及び能力評価の共通した技術を学び、人事評価についての組織内における認識の共有化を図った。</li> <li>・定期的に評価者に対し、研修を行うとともに、検討委員会の意見を踏まえながら、人事評価制度の客観性・納得性・透明性・信頼性の確保に努めていくことが、能力・実績に基づく効果的な人事管理に繋がる。</li> </ul>	職員が自ら定めた目標を達成できた項目の割合	90.0%	○ 97.0%	90.0%	90.0%	90.0%	90.0%	
16 定員管理の適正化 【総務課】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定年引上げを見据え、再任用制度による再雇用者を適正に配置できるような仕組みを構築する。</li> <li>・行政サービスの多様化、会計年度任用職員の人数、業務等を明確にし、全体での適正な職員数を把握する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第4次定員適正化計画（R元年6月策定）に原則基づくが、安定した行政サービスを継続して実施していくために、休業者や再任用職員、退職見込者など、総合的に判断して新規採用数を決定した。 R2計画人数：347人 実績人数：348人 (R2新採13人, R1退職10人)</li> <li>・会計年度任用職員については、各課の任用計画書に基づき、任用数ヒアリングで各課の意見を聴取し、業務量と人数とのバランスを図った。</li> </ul>	定員適正化計画の検証・策定	適正化検証	○	適正化検証	適正化検証	適正化検証	適正化検証	
			非正規職員との事務分担の明確化	—		分析	検証	運用	→	
17 事務事業の整理合理化 【総務課】 【情報推進課】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・RPA及びAIの導入の可能性や必要性を検証したうえで効果的に導入を行う。</li> <li>・先進事例調査・研究</li> <li>・職員向けに周知</li> <li>・かほく市にとって導入効果が高いと思われる業務の選定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員を対象にRPAの説明会を実施。(11/12 124名参加)</li> <li>・各課に対し、RPA導入意向アンケートを併せて実施。</li> <li>・R2年度は、新型コロナウイルス対策特別定額給付金支給業務と福祉系3業務（健診データ関連、胃内視鏡検査結果関連、障害医療費関連）にRPAを導入し、約214時間/年の業務効率化を実現した。 ①健診結果データ入力等、再検査者絞り込み、案内書作成…153時間 ②胃内視鏡検査結果データ入力等、再検査者絞り込み、案内書作成…50時間 ③障害医療費支払い確認書作成…11時間</li> </ul>	導入対象業務の選定及び導入検証	職員向け周知	○	導入候補業務選定	まとめ (検証)	→	→	
			業務洗い出し		○					

重点項目： 4. 事務事業の継続的な見直し

実施項目 【主管課】	実施内容	R2年度実績及び効果 【具体的な実績内容】	実施スケジュール（年度）						結果分析と今後の対策 【目標を達成できなかった 場合のみ記載】	
			項目	R2	評価	R3	R4	R5		R6
【総務課】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員定数削減及び制度の複雑化により、人事異動等の際の業務引継ぎが困難となっていることから、事務処理マニュアルの見直しを行い、内容の充実を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事務処理マニュアルはその内容に変更があった場合は更新するよう職員に周知し、誰でも閲覧ができるよう庁舎内のサーバーに保存している。</li> <li>・令和2年度に更新された事務処理マニュアルについて分析すると、全676個のマニュアル中、更新されたものは227個（34%）であった。</li> <li>・事務引継ぎを円滑に行うため、内容について随時更新していくよう職員へ周知を徹底していく。また、現状は課固有の事務処理マニュアルのみ作成・更新をしているため、職員全体や複数課に跨る各種マニュアルについても一元的に保存することで内容の充実を図りたい。</li> </ul>	事務処理 マニュアルの充実	現状 分析	○	更新	→	→	→	